

令和5年(2023年)8月10日
教育振興課 唯一無二の学校づくり担当
担当者 上田、細山田、江口
内線 3412 直通 0952-25-7424
E-mail:kyouiku-shinkou@pref.saga.lg.jp

令和5年度「学校支援活動」を実施します

県教育委員会と佐賀大学教育学部は、平成17年から連携・協力に関する協定に基づき「学校支援活動」を実施しており、今年度で19年目の取組となります。(令和3年度までは、同じ活動内容を「教育ボランティア活動」という名称で実施)

この活動は、県内公立小・中学校、義務教育学校及び県立特別支援学校が佐賀大学の教員志望の学生を「学校支援活動員」として受け入れ、授業や学習の補助など学校の様々な教育活動を経験してもらうことで、子どもたちや教育現場をより深く理解した教員を育成するとともに、学校においては児童生徒へのきめ細かな指導の充実や、学校の活性化等を図ることを目的としています。

つきましては、今年度の活動を下記のとおり8月16日(水)から予定していますので、お知らせします。

記

1 実施期間

令和5年8月16日(水)～10月1日(日)

※10月2日(月)以降は、学校と大学生で派遣の継続について個別に協議してもらいます。

2 派遣学校・件数・人数(予定)

	小学校	中学校	義務教育学校	特別支援学校	合計
派遣学校数	34校	13校	1校	3校	51校
派遣件数	36件	15件	1件	6件	58件
派遣人数	139人	64人	2人	21人	226人

※ 詳細については、別添資料を御参照ください。

3 主な活動内容

- 長期休業中や学期中の学習指導の補助
- 学校行事(運動会・体育大会、宿泊学習等)の補助
- 特別な支援を必要とする児童生徒への学習指導の補助 等

裏面へ続く→

4 参加した学生や、昨年度の派遣校からの声（事業の効果）

関係者それぞれより次のような声が寄せられました。

（大学生）実際に児童生徒と接してみると、1人1人状況は異なり、適切な声かけや補助をすることの難しさを感じた。教育現場を知るよい経験になった。

（児童生徒）すぐに答えが思いつかないときでも、一緒にじっくりと考えてくれたり調べてくれたりしてくれたので、うれしかった。

（派遣校教職員）学習の補助、休み時間の交流、教材作成と、様々な学校支援に丁寧に関わっていただいた。学校としてもメリットの大きい事業だった。

5 その他

- 各学校で行われる学校支援活動について取材される際は、事前に学校担当者へ連絡をお願いします（連絡先は別添資料参照）。

【参考】佐賀大学との連携・協力事業の概要について

（連携・協力協定の締結日）

平成 17 年 1 月 18 日 佐賀大学文化教育学部、佐賀県教育委員会の 2 者で締結

平成 28 年 5 月 16 日 佐賀大学教育学部、佐賀大学大学院学校教育学研究科、佐賀県教育委員会の 3 者で締結

（事業目的）

佐賀大学教育学部、佐賀大学大学院学校教育学研究科及び佐賀県教育委員会が相互に連携・協力することにより、教員の養成及び資質の向上、学校教育上の諸問題への対応及び生涯学習の推進を図り、もって佐賀県の教育の充実・発展に寄与すること。

（令和 5 年度の事業について）

- 連携・協力協議会
 - ・ 教員養成研修改革協議会
- 教員養成専門部会
 - ・ 学校支援活動（旧 教育ボランティア活動）
 - ・ 「教職実践演習」の実施と教員養成カリキュラムの見直し
- 教員研修専門部会
 - ・ 中堅教諭等資質向上研修等研修機会の多様化
 - ・ 理科指導力向上研修プログラム
 - ・ 特別支援教育・教育相談の教員研修に関連する事業
 - ・ 家庭科指導力向上研修事業
- 教育課題研究専門部会
 - ・ 小中連携による学力向上推進地域指定事業
 - ・ ICT活用による学校支援
 - ・ いじめ防止調査研究事業
 - ・ 教師力・学校力向上に資する実践研究
- 教職大学院専門部会
 - ・ 実践的指導力向上事業
 - ・ 学び続ける学校トップリーダーの資質向上事業
 - ・ 特別支援教育・教育相談の教員研修に関連する事業